

平成22年度
LA ことばと世界
[ことばと発達]

文1-201室 受講者40名

授業担当者 内田伸子(発達心理学)

■ **後期 水曜日 1・2時限 2単位**

■ **9時00分～10時30分**

(1)人間の発達の可塑性

(2)言語・認知の発達

(3)想像力の発達

(4)読み書き能力の獲得

(5)ことばと論理力

5つのトピックから「ことばと発達」について講義をする

教科書:

内田伸子『発達心理学』岩波書店. 2002年版.

辞書:

内田伸子(編)『発達心理学キーワード』有斐閣.

1. 受講するときの心構え

- 科学理論というものは無条件に信じるべきではない。講義やテキストに書かれた事柄は「今の段階ではここまでしかわかっていない」ということの洗練された表明にすぎないのである。つまり学問の知の限界を示しているものである。究極の真理についての試論であり、至論ではない。ありうる仮説の可能性の一つを提示しているのである。

1. 受講するときの心構え

- 従って、常に自分の頭を通して考え、これは確かなことか、本当にそうと言えるのかを常に吟味することが必要なのである。この講義で提示することも、無条件に鵜呑みにせず、きちんと吟味して取り込んでほしい。この講義を聴きながら、疑問を持つこと、対案を提起することが受講者の貴女たちのなすべきことである。

2. 予習と復習を行うこと

■ 2単位の定義

(予習90分＋講義90分＋復習90分)×15回分

★必ず予習と復習をしてほしい

予習・復習の手がかりとして教科書を書いたの
である。教科書の後ろにつけた参考図書や文
献はさらに発展的に学習する手がかりになるで
あろう。

3. パワーポイントを用いての授業

- 授業はパワーポイントで提示し、その日の夕方までに心理学の内田伸子のHPにアップしておく
- お茶大HP → 文教育学部 → 心理学コース → 内田伸子: [言語の獲得と発達] の順にクリック
<http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/devpsy/home.html>

4. 授業の進め方

①授業の開始10時40分

②10時40分～12時7分+3分でコメント作文

③コメント票へのコメント記入と提出

12時7分～12時10分

★遅刻はご容赦ください。

★コメント票は「出席票」を兼ねていますので、
当日5時迄に必ずご提出ください

5. コメント票への記入の手がかり

- 授業に積極的に関わる手がかり

⇒ コメント票に盛り込む内容の手がかり

- ★ わかりやすい文章で書く

→ ポイントをしぼって、手際よく、時間をかけずに内田に伝わる文章で「文は見えるように、絵は読めるように」(小笠原義康, 2003)

6. 授業日程

- 今年には11月17日の補講を加え14回(！)
- ★ 最終回にはテストレポートを作成していただきます。
- ★ 講義についてのご質問はメールで受け付けます。
- ★ その他のご相談は研究室で受け付けます。

では、「ことばと発達」の第1講を開始しましょう